

チーム名	代議員氏名	意見提出日
YOKOHAMA BAY JAZZ	下大沢博之	2020/6/10

意見を1点ご提示します。

<意見> 神奈川大学の国体予選参加について

① 問題点

- ・ 国体予選の B プールは概ね2部から5部のチームが参加しているが、4部や5部のチームと対戦しても目指す学生(神大)の強化が図れない。
- ・ 4部や5部などレベル差のあるチームと神大レベルの学生が対戦すると学生レベルのチェックにより社会人チーム側に怪我人がでる可能性がある。

② 改善案

- ・ 神大は A プールに特別枠で参加する
- ・ または、国体予選以外でレベルのあった相手と強化試合を組む

担当委員会	回答日
競技委員会	2020/6/20

従前は「社会人リーグ」「神奈川選手権」「国体県予選会」の 3 大会を実施していた時期があり、「神奈川選手権」(トーナメント方式)では大学及び高校チームも含まれ実施していました。

その後、社会人リーグと神奈川選手権を統合し、(新)「神奈川選手権」として一般(社会人)チームに特化し、このときから大学は4チームの独自大会となりましたが、チーム数が少なく、且つ、実力差が大きいため、大学強化をどのように実現するかが課題となりました。

チーム数が少ないことと同レベルの対戦が組めないことが原因で、県内で強化を図るには社会人の大会に参加することが不可欠と判断し、第 1 歩として神奈川大学が第 75 回国体県予選会に参加することとしました。

県連では「神奈川大学は A-pool の実力がある」と評価しています。第 75 回国体県予選会では A-pool の部分けが決定していたことから神奈川大学はチームとして B-pool から出場することを選択しました。都連で同時進行している関東大学リーグの日程などから A-pool に昇格する結果を残せませんでした。次回大会以降速やかに昇格すると考えています。

また、他の 3 大学の強化のため、方針の策定と働きかけを継続しています。

今後において神奈川選手権のリーグ戦に参加する場合は「チームの実力を正確に評価」し、部分けについて十分な説明を行います。

なお、ご提案いただきました「改善案」を含めて必要な検討を行ってまいります。